

# ご紹介

## 2020年にむけた"わくわくドキドキ"の 国民参加型 3 R イベント





みんなで集めて、みんなで作る  
リサイクル 2020



# 日本環境設計株式会社 会社概要

## 代表取締役社長 岩元 美智彦

資源循環社会をつくるためには技術だけではなく、誰にでもわかりやすく参加しやすいしくみが必要です。

私は、人々の「生活動線」をそのまま「環境動線」にすることでそれを実現出ると考えます。スーパーに買い物に行く、学校に行く、病院に行くという生活動線上に使用済み製品の回収拠点を置き、そのまま資源循環を実現する環境動線として機能させる。普段の生活に資源循環を組み込むのです。そういうしくみにしないと、人は面倒くさくなってしまい長続きしないと思います。

私たちは、この環境動線として、既に衣服リサイクルの「FUKU-FUKUプロジェクト」やプラスチック製品リサイクルの「PLA-PLUSプロジェクト」を実施。市場を握る大企業をコーディネートし、国も巻き込み業界を超えて資源循環させる社会実験を成功させています。

ぜひ、この環境動線づくりにご参加下さい。



本店所在地 東京都千代田区霞が関三丁目7-1 霞ヶ関東急ビル

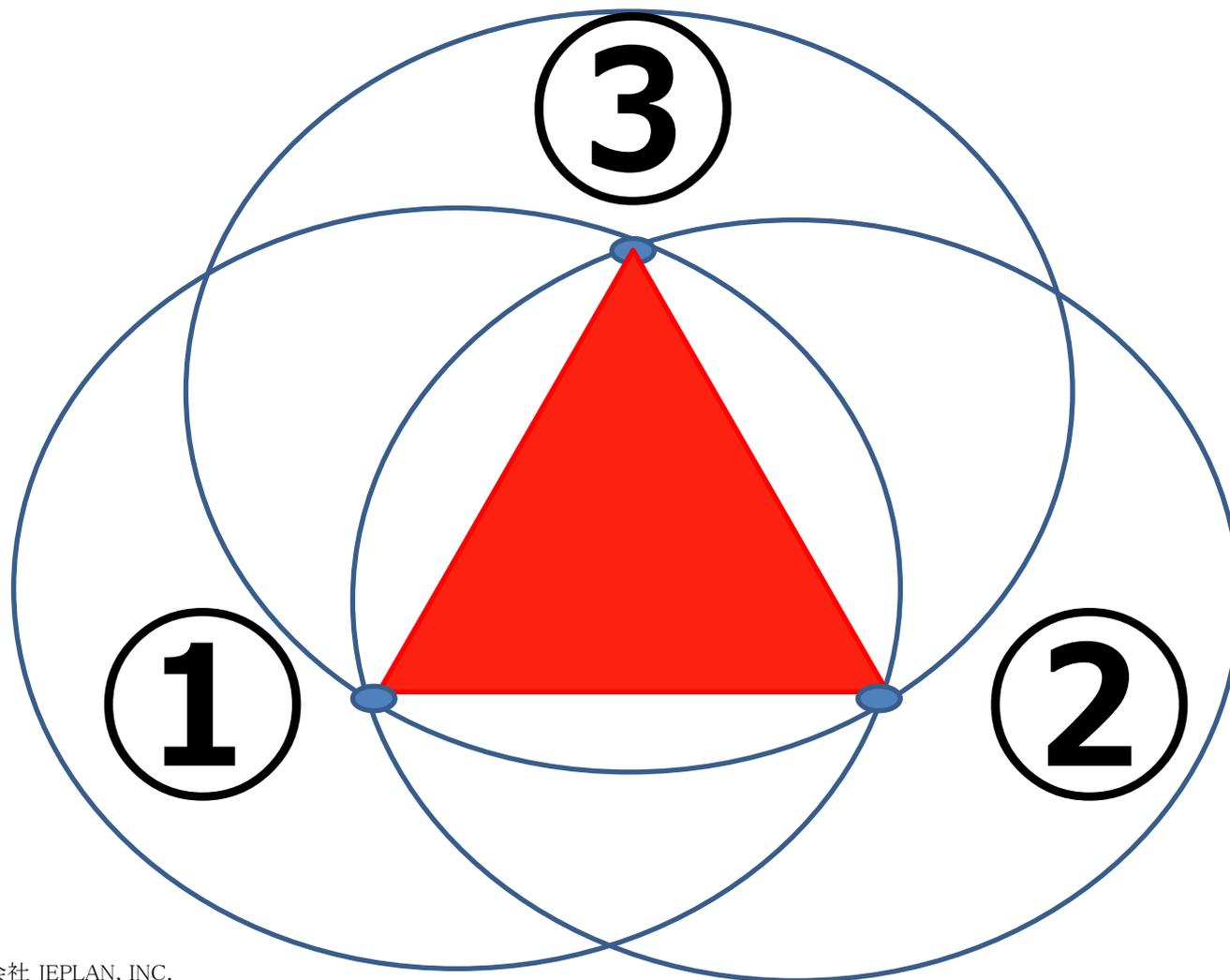
工場所在地 愛媛県今治市（第一工場／第二工場）

設立 2007年1月

資本金 14億9200万円（資本準備金含む）

事業内容 リサイクルインフラの構築、運営を行い、消費者の「環境貢献したい」気持ちを実現します

# 地球再生のトライアングル



OCT 21 20 15 PM 04:29  
PRESENT TIME



2015年10月21日

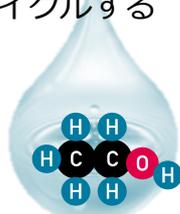
バック・トゥ・ザ・フューチャーの未来を現実にした！



消費者の衣料品などを、参加企業店頭でのリサイクルイベントなどで回収しました。



回収品を燃料にリサイクルする



エタノールを生産

作中の「ごみを燃料にして、デロリアンを走らせるシーン」を本物のデロリアンを使って実演した



資源  
ゴミを集めて  
デロリアンを動かそう。

# わくわくドキドキの「ごみで動くデロリアン」を 実現するために多くの消費者が回収イベントに参加しました



日本環境設計のリサイクルコンセプト

**市民参加型の**

**わくわくドキドキ**

**のリサイクル**

回収実施企業・団体・店舗

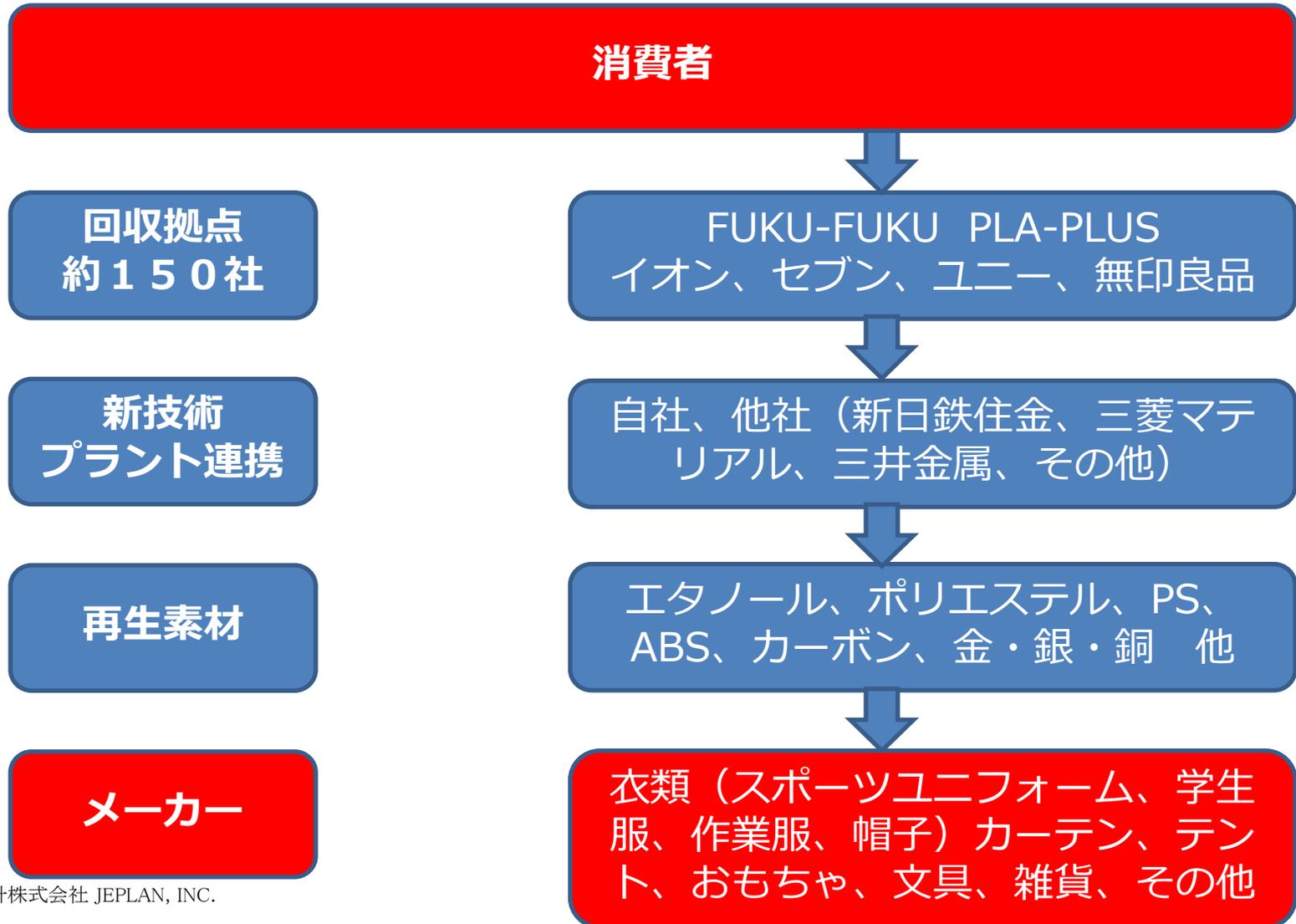
※第5回PLA-PLUSプロジェクト参加企業（2016年1月25日時点）

総合スーパー 百貨店 ショッピングモール											
メディアショップ店			コーヒーストア ファストフード					おもちゃ ペビー用品販売店			
ホームセンター	DCMホールディングス										
生活雑貨販売店											
家電量販店											



サポート企業・団体


# みんなで作る〇〇 (みんなシリーズ)

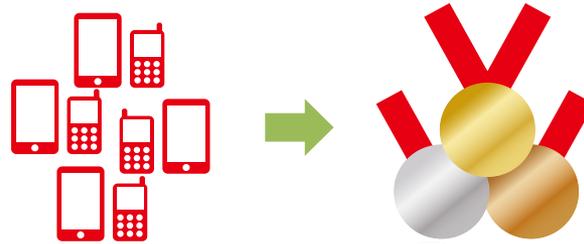


# リサイクルで国民みんなで参加型の オリンピック・パラリンピックをつくろう！



# リサイクルによって**みんなが参加して、 みんなで作るパラリンピック・オリンピック**を実現する！

例：みんなが使わなくなった電子廃棄物、スマホ・ケータイが、メダルになる



回収・リサイクルに参加することで、選手だけでなく国民みんなが具体的に参加できるパラリンピック・オリンピックになる！

パラリンピック・オリンピックが、リサイクルによって、より身近になる！



例：みんなが使わなくなった洋服が、聖火になる

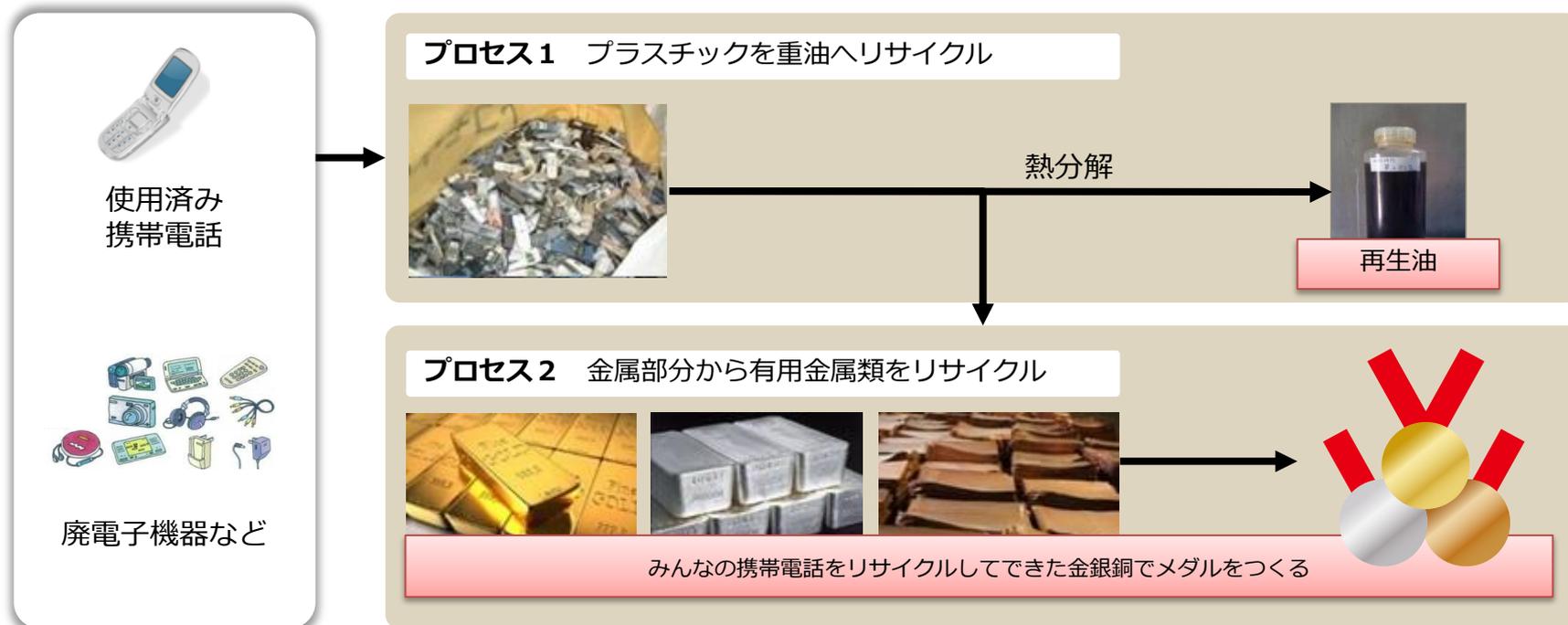
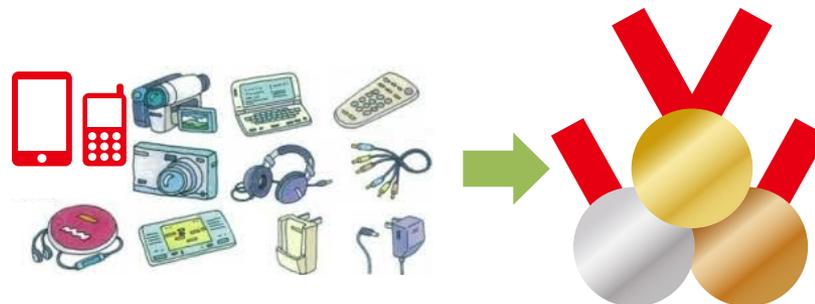


例：みんなが使わなくなったPETボトルやユニフォームが、選手団やスタッフの制服、ユニフォームになる

# みんなが参加して、みんなで作るパラリンピック・オリンピックを 実現する回収のしくみと技術

## みんなが使わなくなった電子機器、 スマホ・ケータイが、メダルになる

日本環境設計は2010年から年間300万～400万台（=300万～400万人）の携帯電話をリサイクルしています。この量は、日本で年間にリサイクルされるスマホ・ケータイ電話の約半分になります。



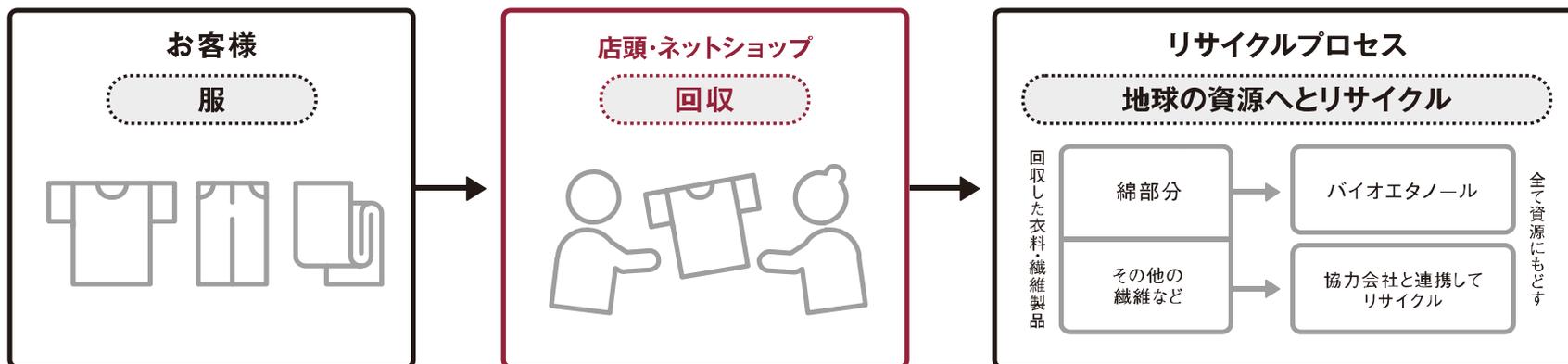
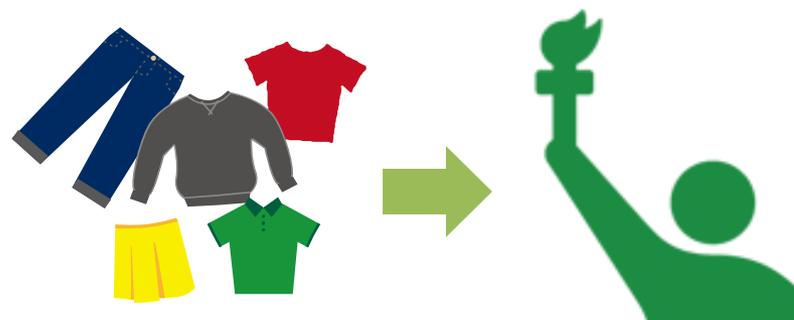
# 約2400箇所の回収拠点

回収拠点は日本全国のケータイショップなど約2400ヶ所あり、  
日々、消費者が使わなくなった携帯電話を持ち込み、資源に生まれ変わっています。



## みんなが使わなくなった洋服が、 聖火になる

あなたの服を地球の福に。日本環境設計が運営するFUKU-FUKUプロジェクトでは、消費者が参加企業の店頭で持ち込んだ繊維・衣料製品を回収しリサイクルし、燃料になるバイオエタノールなどを生産しています



# 参加企業 43 回収拠点 約 1450 箇所

2015年9月～10月に行われたFUKU-FUKU×バック・トゥ・ザ・フューチャーGo!デロリアンプロジェクトでは、43企業、1450ヶ所の回収拠点に消費者が衣料品を持ち込みました。

回収場所：衣料品を回収しているショッピングセンター、モール、店舗

**AEON MALL**

イオンモール福岡    イオンモール沖縄ライカム    イオンモール京都桂川    イオンモール木曾川  
 イオンモール高岡    イオンレイクタウンkaze    イオンモール倉敷    イオンモール名取



**無印良品**



株式会社ゲオホールディングス



サポート企業・団体



# みんなが参加して、みんなで作るパラリンピック・オリンピックを 実現するしくみと技術

## みんなが使わなくなったPETボトル やユニフォームが、選手団やスタッフ の制服、ユニフォームになる

日本環境設計のポリエステルリサイクル技術では、  
PETボトルやユニフォームが、選手団やスタッフみんな  
で使うユニフォームに生まれ変わります。

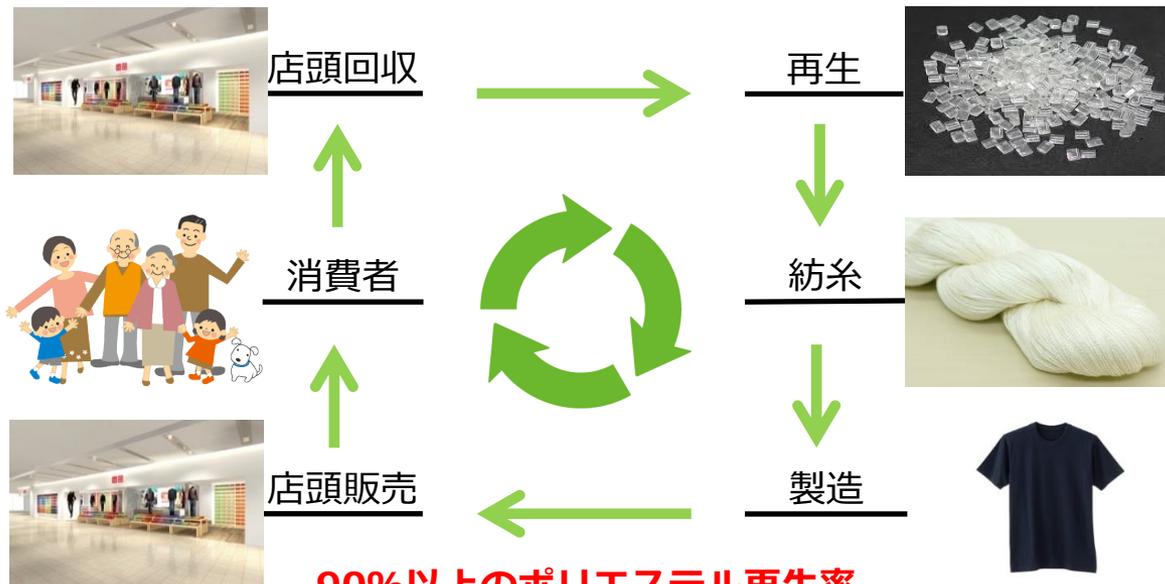


PETはポリエステルの一種です

店頭で回収された衣料品やその他の小売  
り事業者や自治体で回収された衣料品を  
弊社工場で再生し、石油由来のポリエス  
テルと同等のポリエステル樹脂を生産し  
ます。また、その他のポリエステル製品  
も併せて再生します。

生産された再生ポリエステル樹脂を任意  
の紡糸業者に販売し任意の生地を生産  
します。

当該生地で製造された製品は「石油を使  
用しない服」として使用されます。



**90%以上のポリエステル再生率**

※工場建設中

# これからの衣料品



## 「石油を使用しない服」へ

回収のしくみ (回収拠点などの担保)

と

リサイクル技術 (消費者の手元に戻る製品原料まで  
循環できる高度なリサイクル技術)

が必要



みんなで集めて、みんなで作る  
**リサイクル 2020**

ご清聴  
ありがとうございました。

